

III 巻末資料

平成22年度福祉施設・事業所職員就労意識調査 実施要綱

1. 調査目的

少子高齢化の進行により福祉・介護サービスは増大している状況にあり、福祉の職場では福祉人材の確保が緊急の課題となっている。

一方では、福祉職の人材の定着率の低さについても課題となっている。

このような状況をふまえ、県内の社会福祉施設等で働く職員の就労に関する考え方や意見・意向、満足度、就業継続の要件等を把握し、今後の福祉人材の確保・育成・定着に関する対策の資料とする。

2. 実施主体

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

3. 調査対象

県内の福祉施設経営社会福祉法人に勤務する全ての職員。(法人本部職員、施設・事業所職員)

※「派遣職員」を除く「正規職員」と「非正規職員」。

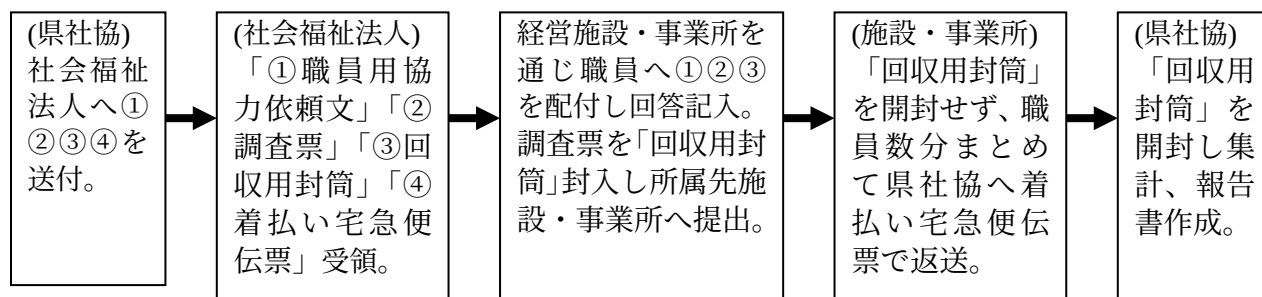
4. 調査期間

平成22年12月1日～20日

6. 調査方法

調査票を郵送し返送いただく調査。(無記名で回答)

- (1) 福島県社会福祉協議会から各社会福祉法人へ「①職員用協力依頼文」「②調査票」「③回収用封筒」を送付する。
- (2) 社会福祉法人では経営する社会福祉施設・事業所を通じて「①職員用協力依頼文」「②調査票」「③回収用封筒」を職員へ配付し、職員は調査票へ回答する。
- (3) 職員は調査票回答後に「③回収用封筒」へ調査票を封入し、所属する社会福祉施設・事業所へ提出する。
- (4) 社会福祉施設・事業所は、提出された「③回収用封筒」を開封せず、職員数分まとめて福島県社会福祉協議会宛12月24日(金)まで返送する。
- (5) 福島県社会福祉協議会において調査票回収後に集計を行う。(法人、施設・事業所単位での集計は行わず県内全体の集計を行う。)
- (6) 福島県社会福祉協議会において集計結果を分析し、報告書を作成する。



7. 調査内容

別紙調査票のとおり。

8. 問合せ先

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 福祉人材センター

TEL024-521-5662 FAX024-521-5663

Email: jinzai@fukushimakenshakyo.or.jp

平成22年11月

社会福祉施設・事業所職員の皆様へ

社会福祉法人福島県社会福祉協議会

平成22年度「福祉施設・事業所職員就労意識調査」への回答のお願い

本会事業の推進については、日頃よりご支援・ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

このたび、県内の社会福祉施設等で働く職員の就労に関する考え方や意見・意向、満足度、就業継続の要件等を把握し、今後の福祉人材の確保・育成・定着に関する対策の資料とするため、標記調査を実施することにいたしました。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、別紙「調査票」に回答を記入いただき「回収用封筒」へ入れ封をした上で、所属施設・事業所へ**12月20日（月）まで**提出くださいますようご協力お願いいたします。

回答は任意ではありますが、調査票へ回答することで福祉の職場をよくすることに繋がることをご理解いただき、多くの職員の回答をお願いいたします。

なお、本調査については無記名式であり、「回収用封筒」へ入れたあとは、所属施設・事業所で開封せず本会へ返送されることになっておりますので、個人が特定されることは一切ありません。

また、本調査の目的以外で使用することもありません。

記

1. 調査対象

県内の福祉施設経営社会福祉法人に勤務する全ての職員。

（法人本部職員、施設・事業所職員）「派遣職員」を除く「正規職員」と「非正規職員」。

2. 配付物

- (1)職員用依頼文(本文書)
- (2)調査票（A4版両面）
- (3)調査票回収用封筒

3. 問い合わせ等

ご不明な点等があれば、所属施設・事業所を通じ、福島県社会福祉協議会福祉人材センターまでご連絡くださいますようお願いいたします。

平成22年度「福祉施設・事業所職員就労意識調査」調査票

調査実施：社会福祉法人福島県社会福祉協議会（福祉人材センター）

- ◎ 12月20日(月)まで所属施設・事業所へ回収用封筒に封入し提出願います。**裏面にも回答願います。**
◎ 無記名での回答ですので、法人や施設・事業所単位での集計は行わず県内全体集計とします。

問1 性別・年齢 **男・女** **歳** (H22.11 月末現在)

問2 現在、勤務している施設・事業所（兼務している場合○はいくつでも）

ア. 高齢者（施設） **イ.** 高齢者（居宅介護） **ウ.** 高齢者（地域密着型） **エ.** 高齢者（居宅介護支援）
オ. 障害者（複合） **カ.** 障害者（身体） **キ.** 障害者（知的） **ク.** 障害者（精神） **ケ.** 児童（保育所）
コ. 児童（保育所以外） **サ.** その他（ ）

問3 雇用形態（○は一つ）※常勤とは正規職員と同じ労働時間勤務、非常勤とはパート、アルバイトなど

ア. 正規職員 **イ. 非正規職員（常勤）** **ウ. 非正規職員（非常勤）**

問4 1週間あたりの労働時間（実際に働いた時間）

問5 現在の法人での勤続年数（H22.11 月末現在）

問6 福祉分野での業務経験年数（全部合わせる、H22.11 月末現在）

間7 現在の職種（兼務している場合○はいくつでも）

ア. 介護職（高齢者領域） **イ.** 介護職（障害者領域） **ウ.** 保育職
エ. 看護職（＜准＞看護師、保健師等） **オ.** 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等のリハビリ関連職
カ. 相談員・生活支援員・指導員等 **キ.** ケアマネジメント職（介護支援専門員等）
ク. 栄養士・調理員 **ケ.** 総務・経理等の事務職 **コ.** その他（ ）

問8 現在の仕事を選んだ理由は何ですか（○はいくつでも）

ア. 生きがい・社会参加となる
イ. 資格・技能が生かせる
エ. 知識・技能を身につけたい
オ. これからの時代に必要な仕事である
カ. 人や社会に役立つ仕事がしたい
キ. 自分や家族の都合のよい時間（日）に働ける
ク. 家計を維持するため
ケ. 納得できる労働条件（給与・福利厚生等）であった
コ. 他によい仕事があった
サ. 特に理由はない
シ. その他（ ）

問9 現在の職場でやりがいを感じることは何ですか（○はいくつでも）

ア. 専門性が発揮できる
ウ. 利用者やその家族に感謝される
オ. 自分が成長している実感がある

イ. 利用者の援助・支援や生活改善に繋がる
エ. 組織・チームに貢献できる
カ. その他（ ）

問10 現在の法人（施設・事業所）で働きたいですか（○は一つ）

ア. 現在の法人でずっと働きたい **イ.** 1,2年での転職を検討している（問11にも回答）
ウ. すぐではないが転職を検討している（問11にも回答） **エ.** わからない

問11 問10で「イ」または「ウ」を選んだ方にのみお答えください（○は一つ）

ア. 同じ分野（福祉関係）での転職を検討 **イ. 他分野（一般企業等）への転職を検討**

問12 現在の法人（施設・事業所）を一度でも辞めたいと思ったことがありますか（○は一つ）

ア. ある（問13にも回答） **イ.** ない

問13 問12で「ある」と答えた方のとどまった理由は何ですか（○はいくつでも）

- ア.** 生計維持のため **イ.** やりがいがあるから **ウ.** 人間関係（上司、同僚）がよいから
エ. 他に仕事がないから **オ.** 仕事に慣れるまでやりたかったから **カ.** 職場内で励ましがあつたから
キ. 資格取得や奨学金等のため **ク.** 人員不足で説得されたため **ケ.** 労働条件（給与等）が改善された
コ. その他（ ）

問14 現在の職場に就職する前に、福祉サービスの仕事に就いていましたか

- 1.** はい 「はい」の方は下記の事業所種類を選んでください（○はいくつでも）
ア. 施設（高齢） **イ.** 居宅（高齢） **ウ.** 地域密着型 **エ.** 居宅介護支援 **オ.** 障害 **カ.** その他
2. いいえ 「いいえ」の方は下記からを選んでください（○は一つ）
ア. 新卒 **イ.** 一般の会社・自営 **ウ.** 仕事はしてない **エ.** その他（ ）

問15 問14で「はい」と答えた方にお尋ねします

- (1) そのときの雇用形態（現在の職場に就く直前の施設・事業所の場合でお答えください。○は一つ）
ア. 正規職員 **イ.** 非正規職員（常勤） **ウ.** 非正規職員（非常勤）
(2) その法人（会社等）を辞めた主な理由は何ですか（○はいくつでも）
ア. 給与・賃金に不満 **イ.** 労働環境に不満（労働時間・休憩時間・夜勤・有給休暇等）
ウ. 上司との人間関係 **エ.** 同僚との人間関係 **オ.** 主任などの役職への重圧
カ. 新たに資格等をとった **キ.** キャリアアップが望めなかった
ク. 身体的健康を害した（腰痛等） **ケ.** 精神的健康を害した（ストレス等）
コ. 自分・家庭の事情（結婚・出産・転勤等） **サ.** 利用者への対応に限界を感じた
シ. 自分が考えているサービスが行われていなかった
ス. その他（ ）
(3) 現在の法人に就職した主な理由は何ですか（○はいくつでも）
ア. 経営が健全であり、将来的に安定している **イ.** やりたい職種・仕事内容だった
ウ. より収入の多い仕事に就きたかった **エ.** 勤務時間・労働日数が短い
オ. 通勤が便利 **カ.** 自分の都合のよい時間に働ける **キ.** 家族や知人の勧め・紹介
ク. 仕事と家庭が両立しやすい環境が整っている **ケ.** 職員への教育・研修が充実している
コ. キャリアアップが望める **サ.** 優れた経営者がいる **シ.** 法人の理念・方針に共感した
ス. サービスの質が高い **セ.** 新設だった **ソ.** 特に理由はない
タ. その他（ ）

問16 最近1か月間の状況としてあつたものは何ですか（○はいくつでも）

- ア.** イライラする **イ.** 不安だ **ウ.** 落ち着かない **エ.** ゆうつだ **オ.** よく眠れない
カ. 体の調子が悪い **キ.** 物事に集中できない **ク.** することに間違いが多い
ケ. 工作中強い眠気に襲われる **コ.** やる気が出ない **サ.** へとへとだ（運動後を除く）
シ. 朝起きた時ぐったりした疲れを感じる **ス.** 以前と比べて疲れやすい
セ. 精神的不調のため診察やカウンセリングを受けた **ソ.** 精神的不調のため服薬した

問17 現在の職場への要望はありますか（○はいくつでも）

- ア.** 労働時間・休憩時間の改善 **イ.** 夜勤回数や体制の改善 **ウ.** 休日（有給休暇等）の改善
エ. 給与等賃金の改善 **オ.** 福利厚生の実施 **カ.** 退職金制度の実施 **キ.** 妥当な人事評価
ク. 能力・資格・経験等に応じた処遇（賃金体系・任用等）の実施 **ケ.** 研修内容・参加の実施
コ. 資格取得への支援 **サ.** 専門性が発揮できる職場環境 **シ.** 日常業務における情報の共有
ス. 上司との人間関係・コミュニケーションの改善 **セ.** 職員同士の人間関係・コミュニケーションの改善
ソ. メンタルヘルス（こころの健康）対策の実施 **ナ.** 特に要望はない
ニ. その他（ ）

ご協力ありがとうございました。

**平成22年度
福祉施設・事業所職員就労意識調査
報告書**

発行：平成23年3月

発行者：社会福祉法人福島県社会福祉協議会

人材研修課 福祉人材センター

〒960-8141 福島市渡利字七社宮111

(福島県総合社会福祉センター内)

電話 024-521-5662 Fax 024-521-5663

<http://www.fukushimakenshakyō.or.jp>

E-mail:jinzai@fukushimakenshakyō.or.jp

集計・印刷：株式会社トーネット

〒960-8164 福島市八木田字中島 36-1 (トーネットビル)

電話 024-539-9777 Fax 024-539-9778